

住職の写真日記より【8月】 ※ホームページではカラーで見られます

涼しかったので、今年のお盆参りは楽に回れました。東京在住の娘は、お盆明けに帰省し1週間ほどのんびり。ご講師の夕食接待に、娘も同席、美味しそうにビールを飲んでてビックリ。そう、もう二十歳でした。初めて一緒にお酒を飲めてちょっと感激の1日でした。



1日 保養家族の歓迎会

今年も福島からの保養で3家族が生活。リピーターなので前回は振り返りながら歓談。



6日 お礼の手紙

お寺での4カ月間のホームステイを終えたマーちゃんから。綺麗な字でした。



9日 坊守FMラジオ出演

「お西のお寺さん」というローカル局の番組。なかなか上手にトークしてました。



9日 ミネラルウォーターです

坊守の提案でロビーに。水は冷たく美味。ホットもあり。結構飲んでくれます。



13日 お盆ゆかり広場

今年も大勢立ち寄ってくれました。金谷大師堂仏壇店の売れ行きも上々。



17日 納骨堂清掃日

涼しい事もあって、それほど傷んでなかったようです。量は昨年より多いそうです。



18日 今年も出場しました

昨年に引き続き市民盆踊り大会に総勢80名で参加。純正も浴衣を着て初参加。今年は「ユーモア賞」でした。



22日 納骨のお参りで

お世話になったくるみ幼稚園前園長の奥さんの納骨に、帰省している娘も一緒にお参りしてくれました。



29日 函館1泊参拝旅行

27名が参加。写真はお東の別院で、阿弥陀様と親鸞聖人の御影が正面に安置されているという珍しい本堂です。

坊守の独り言

お盆参りでは、皆様方の温かいご協力（時間の問い合わせ電話が少なかった）で、無事に肉体的にも精神的にも穏やかに参りを終えることができました。ありがとうございました。

そして8月末に27名で江差・函館別院参拝旅行に行ってきました。

北海道の歴史に松前藩、函館、江差は必ず出てきます。そこに真宗大谷派・本願寺派といった北海道の仏教の歴史も密着していること、みなさんご存じですか？

例えば中山峠は真宗大谷派が深く関わり別名「本願寺街道」と呼ばれていること。そして今回の旅行で「船底説法」という歴史に触れてきました。明治の前までは大谷派だけが開教を許され、本願寺派の開教は許されていませんでした。開教の許可を求めると罰せられ獄中行きだったそうです。そこで、ご法話を聴聞したいと江差商人などは漁船に乗り込み、津軽海峡で本州から呼び寄せた布教使を漁船に乗せ船底で聴聞した歴史があるそうです。いま現在でも本願寺江差別院では「船底説法の集い」と法要を営んでいます。

「お盆参りが疲れる、時間が気になる」とお恥ずかしいことを言ってすみません。と江差別院の本堂で反省した住職、坊守でした。

みなさんもぜひ江差別院・函館別院（大谷派・本願寺派）両方お参りしてみてください。ここは京都かな？と感じる瞬間です。